

外国語教育メディア学会 (LET)

The Japan Association for Language Education and Technology

## 第 55 回 (2015 年度) 全国研究大会

The 55th Annual Conference

---

外国語教育の最前線：リサーチと実践の出あうところ

L2 Classroom: Where Research Meets Practice



主	催	外国語教育メディア学会 (LET)
後	援	文部科学省・大阪府教育委員会
期	日	2015 年 8 月 4 日 (火) ~ 6 日 (木)
会	場	千里ライフサイエンスセンター 〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2
大会事務局		関西大学 山西博之研究室内 〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3 丁目 3-35 E-mail: let2015office@gmail.com

<http://www.let-kansai.org/2015/>

# ご挨拶

## F o r e w o r d s

外国語教育メディア学会会長  
竹内 理（関西大学）

今年もまた LET 全国研究大会の季節がやって来ました。様々な地域の会員の皆さんが一堂に集い、研究や教育の話をするすばらしい機会です。暑さにも負けず、ゲリラ豪雨にも負けず、そして、日々の忙しさにも負けず、ぜひこの機会を最大限に利用して、研究・教育に向けた新たな活力を得て頂ければと思います。

会長就任以来6年、私は、LET 関係のいかなる挨拶でも寄稿文でも、「学会は楽会（界）となるべし」と繰り返し述べてきました。「楽しい」の意味は人それぞれ違うでしょう。しかし、義務感で参加するのではなく、仕事として参加するのでもなく、何か「楽しい」ことを見つけるために参加することができれば、学会の存在意義はより増していくと思います。

楽しくないものは、やがて消え去ります。立場や年齢を超えて、自らの興味・関心にもとづき「さあ、これから楽しい時間の始まりだ」と言って頂けるように、そして大会終了後は「来年もぜひ来たい」と言ってもらえるように、今大会のご挨拶でも、私の願いを込めて、同じことを繰り返して述べさせていただきます。

本大会は、新しい試みが幾つも取り入れられています。その分、これまでの準備も大変だったと思います。全力をあげてご準備いただいた若本夏美先生（大会実行委員長）、山西博之先生（大会事務局長）をはじめとした大会実行委員のみなさん、関西支部会員の方々、そしてご出展いただきました賛助会員のみなさんに、衷心より感謝の意を表したいと思います。ありがとうございました。

さあ、  
思う存分、楽会を楽しみましょう！

全国大会実行委員長・LET 関西支部長  
若本 夏美（同志社女子大学）

ある授業でクリッカーを使っています。学生の反応が即座にシェアされて授業が活性化することに気づきます。あらためて授業に活用可能なリソースが増えていることを実感します。しかし選択肢が増えたからこそ、英語授業の本質や目的を再考することが一層重要になったと感じています。何のためにそのような選択をしているかと。教師に限らず「仕事の本質は誰かの役に立つこと」（松浦弥太郎、2015）であると思います。新たな選択肢を活用することによって学習者にどう役に立つのか、考えてみることは大切なことではないでしょうか。一方、授業の質を高めるためには使用可能なリソースは何でも活用してみよう！という柔軟性と心を閉ざさない姿勢も重要であると思います。質の高い授業をするためには自分自身が変わることも求められるのです。

全国大会も関西支部としては今回初めて大学外施設である千里ライフサイエンスセンターで開催します。約2年の年月をかけ、支部運営委員会とりわけ山西博之事務局長をヘッドとする実行委員会で熱く建設的な議論が展開されてきました。「外国語教育の最前線：リサーチと実践の出あうところ」をテーマに、基調講演に Xuesong (Andy) Gao 先生、Alison Mackey 先生、Neomy Storch 先生をお迎えし、シンポジウム、研究発表、ワークショップ、展示・デモンストレーションの充実したプログラムとなっています。私たち自身にどのような選択肢があるのか。多忙な日常から離れ、ゆったりと考えをめぐらせることができる3日間にしていただけると幸いです。

# 全体スケジュール

## Overall Schedule

8月4日（火） Tuesday, August 4

10:00-	各種委員会・支部長連絡会議 Committee Meetings & Chapter Presidents' Meeting
12:30-	理事会 National Directors' Meeting
	セミナー Seminars (p. 6)
12:00-14:20	水本 篤 (802室 Room 802)
14:40-17:00	今尾 康裕 (801室 Room 801)
14:40-16:00	ワークショップ Workshop (p. 6)
	中條 清美・西垣 知佳子 (802室 Room 802)

8月5日（水） Wednesday, August 5

9:00	受付 Registration
	サイエンスホール Science Hall
9:00-17:40	賛助会員展示 Supporting Member Exhibits
	サイエンスホール Science Hall・603・604
9:40-10:00	開会行事 Opening Ceremony
	ライフホール Life Hall
10:00-11:30	基調講演 1 Keynote Speech 1 / Dr. Xuesong (Andy) Gao
	ライフホール Life Hall
11:30-12:10	総会・学会賞表彰 Annual General Meeting・LET Awards
	ライフホール Life Hall

12:30-16:00	研究発表・実践報告・公募シンポジウム Oral Presentations・Symposium 賛助会員デモンストレーション Supporting Member Demonstrations
①12:30-13:00 ②13:05-13:35 ③13:40-14:10 ④14:20-14:50 ⑤14:55-15:25 ⑥15:30-16:00	研究発表・実践報告：501・502・503・601・602 (p. 11) 公募シンポジウム：ライフホール (p. 15) 賛助会員デモンストレーション：サイエンスホール ステージ (p. 9) (公募シンポジウムは 12:30-14:10 と 14:20-16:00 の 2 件)
13:10-14:40 掲示：9:00-16:00	ポスター発表コアタイム Poster Presentation Core Time (p. 17) サイエンスホール Science Hall
16:10-17:40	基調講演 2 Keynote Speech 2 / Dr. Alison Mackey ライフホール Life Hall
18:00-20:00	懇親会 Conference Reception 千里阪急ホテル Senri Hankyu Hotel

## 8月6日(木) Thursday, August 6

9:00	受付 Registration サイエンスホール Science Hall
9:00-15:00	賛助会員展示 Supporting Member Exhibits サイエンスホール Science Hall・603・604
9:30-14:40	研究発表・実践報告・公募シンポジウム Oral Presentations・Symposium 賛助会員デモンストレーション Supporting Member Demonstrations
⑦ 9:30-10:00 ⑧10:05-10:35 ⑨10:40-11:10 ⑩11:15-11:45 ⑪11:50-12:20 ～昼食休憩～ ⑫13:00-13:30 ⑬13:35-14:05 ⑭14:10-14:40	研究発表・実践報告：501・502・503・601・602 (p. 22) 公募シンポジウム：ライフホール (p. 28) 賛助会員デモンストレーション：サイエンスホール ステージ (p. 21) (公募シンポジウムは 9:30-11:10・11:15-12:55・13:00-14:40 の 3 件)
13:10-14:40 掲示：9:00-16:00	ポスター発表コアタイム Poster Presentation Core Time (p. 30) サイエンスホール Science Hall
15:00-16:30	基調講演 3 Keynote Speech 3 / Dr. Neomy Storch ライフホール Life Hall
16:35-16:50	閉会行事 Closing Ceremony ライフホール Life Hall

8 月 4 日 ( 火 )

Tuesday, August 4

10:00-

各種委員会・支部長連絡会議

Committee Meetings and Chapter Presidents' Meeting

12:30-

理事会

National Directors' Meeting

12:00-17:00

セミナー

Seminars

14:40-16:00

ワークショップ

Workshop

セミナーとワークショップには、会員・非会員問わず無料でご参加いただけます。事前参加申し込みも必要ありません。

The seminars and workshop are free of charge and open to both LET members and non-members. Advance application is not required.

## セミナー 1 / Seminar 1 (802 室 / Room 802)

講演：12:00-13:30 休憩：13:30-13:50 質疑応答：13:50-14:20

### Web アプリケーションで学ぶ統計解析の基礎と応用

水本 篤 (関西大学)

Atsushi Mizumoto (Kansai University)

## セミナー 2 / Seminar 2 (801 室 / Room 801)

講演：14:40-16:10 休憩：16:10-16:30 質疑応答：16:30-17:00

### リスニング教材準備は Mac と CasualTranscriber で！

今尾 康裕 (大阪大学)

Yasuhiro Imao (Osaka University)

## ワークショップ / Workshop (802 室 / Room 802)

14:40-16:00

### パラレルコーパスの教育利用：4 種のコーパスフリーウェアの活用

中條 清美 (日本大学)

Kiyomi Chujo (Nihon University)

西垣 知佳子 (千葉大学)

Chikako Nishigaki (Chiba University)

8 月 5 日 ( 水 )

Wednesday, August 5

9:00-

受付 (サイエンスホール)

Registration (Science Hall)

9:40-10:00

開会行事 (ライフホール)

Opening Ceremony (Life Hall)

司会 山西 博之 (大会事務局長 関西大学)

挨拶 竹内 理 (LET 会長 関西大学)

若本 夏美 (大会実行委員長 LET 関西支部長 同志社女子大学)

Coordinator Hiroyuki Yamanishi (Conference Secretariat, Kansai University)

Greetings Osamu Takeuchi (President of LET, Kansai University)

Natsumi Wakamoto (Conference Chair, President of LET Kansai Chapter,  
Doshisha Women's College of Liberal Arts)

10:00-11:30

基調講演 1 (ライフホール)

Keynote Speech 1 (Life Hall)

## **Promoting Intercultural Understanding in Classrooms: Making a Case for Japanese Language Learners in China**

Dr. Xuesong (Andy) Gao  
The University of Hong Kong



11:30-12:10

## 総会・学会賞表彰（ライフホール）

Annual General Meeting and LET Awards (Life Hall)

司会	住 政二郎（LET 事務局長 関西学院大学）
挨拶	竹内 理（LET 会長 関西大学）
Coordinator	Seijiro Sumi (Secretariat of LET, Kwansei Gakuin University)
Greetings	Osamu Takeuchi (President of LET, Kansai University)

9:00-17:40

## 賛助会員展示（サイエンスホール）

Supporting Member Exhibits (Science Hall)

出展賛助会員一覧については p. 37 をご覧ください。

A list of the exhibiting supporting members can be found on p. 37.

## 第2日：8月5日 Day 2: August 5th

### 賛助会員デモンストレーション Supporting Member Demonstrations

①12:30-13:00 ②13:05-13:35 ③13:40-14:10 ④14:20-14:50 ⑤14:55-15:25 ⑥15:30-16:00

## サイエンスホール ステージ (Science Hall)

① 英会話 e-Learning 教材「MyET」のご紹介 - アジアで 140 万人が利用する理由

Introduce to 'MyET' -Best software of learning to speak English-

G-TELP 日本事務局

G-TELP JAPAN

② 留学前後教育に対応！自己学習とオンライン英会話のバランス重視型レッスン「EZ to Talk」のご紹介

Introduction of "EZ to Talk", well-balanced lesson of self study and online speaking session, suitable for preparation / followup of overseas study

リアリーイングリッシュ株式会社

Reallyenglish Japan Co., Ltd.

③ グロリアオンライン(総合 DB)を使った英語学習

English learning using the Gloria online (General database)

ユーメディア

YUMEDIA Inc.

④ 摂南大学における『Progress』の導入の経緯

Implementing *Progress* at Setsunan University

ピアソン・ジャパン株式会社

Pearson Japan K.K.

鳥居 祐介 (摂南大学)

Yusuke Torii (Setsunan University)

松田 早恵 (摂南大学)

Sae Matsuda (Setsunan University)

⑤ 4 技能型英語試験(IELTS・TEAP・英検)対策にも役立つオンラインアカデミックライティング講座のご案内

Introduction to "Online Study-Abroad and Preparation for Academic Writing Course"

公益財団法人 日本英語検定協会

Eiken Foundation of Japan

①12:30-13:00 ②13:05-13:35 ③13:40-14:10 ④14:20-14:50 ⑤14:55-15:25 ⑥15:30-16:00

⑥ 使える語学力を磨く、ウチダの新語学ソリューションのご紹介

～youtube の動画利用、e-Learning 学習教材、オンライン型マンツーマンレッスンなど～

Introduction of UCHIDA's new solutions for developing English proficiency

Keywords: Youtube on CALL, e-Learning system, online English lesson

内田洋行

UCHIDA YOKO CO., LTD.

## 第2日：8月5日 Day 2: August 5th

研究発表・実践報告・公募シンポジウム Oral Presentations・Symposium

①12:30-13:00 ②13:05-13:35 ③13:40-14:10 ④14:20-14:50 ⑤14:55-15:25 ⑥15:30-16:00

### 501 (実践報告 | Classroom / Application Report)

- ① 発音の誤りへの気づきと修正を取り入れた授業実践とその効果  
A practical study on the effectiveness of a self-monitoring method to correct pronunciation  
小林 翔 (東京都立白鷗高等学校) Sho Kobayashi (Tokyo metropolitan Hakuo senior high school)
- ② シャドーイングによる英語スピーキング、リスニング力養成の実践報告  
A case study on how to enhance students' English speaking and listening ability through shadowing  
深津 勇仁 (リンデンホールスクール) Yujin Fukatsu (Linden Hall School)
- ③ オンライン・ライティング活動における仮想ファシリテーターの役割  
The Role of a Virtual Facilitator in the Online Writing Activities  
久島 智津子 (津田塾大学) Chizuko Kushima (Tsuda College)
- ④ 英語初級レベルの大学生に対する反転学習と協働学習を取り入れたライティング指導  
English writing instruction with flipped learning and collaborative learning for beginner-level college students  
下山 幸成 (東洋学園大学) Yukinari Shimoyama (Toyo Gakuen University)
- ⑤ ウェブ型リーディング・プログラムの開発 –その可能性と課題–  
Developing a Web-based Reading Program: Possibilities and Problems  
田口 悦男 (大東文化大学) Etsuo Taguchi (Daito Bunka University)  
神田 明延 (首都大学東京) Akinobu Kanda (Tokyo Metropolitan University)  
大須賀 直子 (明治大学) Naoko Osuka (Meiji University)  
竹村 雅史 (北星学園大学短期大学部) Masashi Takemura (Hokusei Gakuen University Junior College)  
メイス みよ子 (聖学院大学) Miyoko Maass (Seigakuin University)
- ⑥ “オール・イングリッシュ” 授業に対する大学生の声：学習者ビリーの質的研究  
Voices from the university students about “All English” class: Qualitative study of learners' beliefs  
上野 育子 (関西学院大学) Ikuko Ueno (Kwansei Gakuin University)

## 502 (実践報告 | Classroom / Application Report)

- ① 分析的・身体的音声指導の効果 - 中学生を対象とした3日間の英語合宿を通じて  
The Effects of Analytical and Physical Instruction on English Pronunciation - Through 3-days training camp for junior high school students

阪上 潤 (立命館大学)

Jun Sakaue (Ritsumeikan University)

竹田 里香 (特定非営利活動法人 Creative Debate for GRASS ROOTS)

Rika Takeda (Creative Debate for GRASS ROOTS)

山根 繁 (関西大学)

Shigeru Yamane (Kansai University)

- ② アニメとドラマを利用した若者ことばの学習 - 目標言語と母語の素材を使用したタイ  
人大学生向け日本語授業の一例 -

Learning Contemporary Youth Dialogue Through Anime and Drama - A Practice in Japanese Class for Thai University Students Utilizing Material from Both Target and Mother Languages -

松井 夏津紀 (チュラーロンコーン大学) Natsuki Matsui (Chulalongkorn University)

- ③ ウェブ会議を伴った発信型指導が英語習熟度・スピーキング力に及ぼす効果

Effects of output-oriented instruction with videoconferencing on English proficiency and speaking ability

飯野 厚 (法政大学)

Atsushi Iino (Hosei University)

藪田 由己子 (清泉女学院短期大学)

Yukiko Yabuta (Seisen Jogakuin College)

藤井 彰子 (聖心女子大学)

Akiko Fujii (University of the Sacred Heart)

中村 洋一 (清泉女学院短期大学)

Yoichi Nakamura (Seisen Jogakuin College)

- ④ 教育用例文コーパス SCoRE を利用したリメディアル文法授業の実践

Teaching Remedial Grammar Using Sentence Corpus of Remedial English

中條 清美 (日本大学)

Kiyomi Chujo (Nihon University)

西垣 知佳子 (千葉大学)

Chikako Nishigaki (Chiba University)

- ⑤ Web Speech API を利用した非同期型音声ブログの構築について

Construction of Asynchronous Voice-based Blog System Using Web Speech API

小野 雄一 (筑波大学)

Yuichi Ono (University of Tsukuba)

石井 卓巳 (筑波大学)

Takumi Ishii (University of Tsukuba)

大西 昭夫 (株式会社 VERSION2)

Akio Onishi (VERSION2 Inc.)

①12:30-13:00 ②13:05-13:35 ③13:40-14:10 ④14:20-14:50 ⑤14:55-15:25 ⑥15:30-16:00

⑥ リスニング力強化のためにシャドーイングをタブレットやスマホで自主学習できるシステムの構築

Strengthening English listening skills: The development of a self-study shadowing system for tablets and smart phones

伊藤 佳世子 (京都大学)

Kayoko Ito (Kyoto University)

仲野 基紀 (株式会社 CHleru)

Motonori Nakano (CHleru Co., Ltd.)

## 503 (研究発表 | Research Paper)

① 多読とディクトグロスが英語熟達度に及ぼす効果

Investigating the effects of pleasure reading and dictogloss on English proficiency

田中 美津子 (立命館大学)

Mitsuko Tanaka (Ritsumeikan University)

② 日本人高校生における結束性理解の質的分析

A qualitative analysis of the process of resolving cohesive ties by Japanese high school EFL learners

藤田 賢 (三重県立神戸高等学校)

Ken Fujita (Mie Prefectural Kambe High School)

③ 自然音声と圧縮音声における L2 減約の知覚

Second language learners' perception of phonetic reduction in natural speech and mechanical speech

中田 ひとみ (獨協大学)

Hitomi Nakata (Dokkyo University)

④ 語彙学習方略と語彙の主観的学習困難度: コンジョイント分析と潜在クラスモデルによるセグメンテーション

Vocabulary learning strategy and subjective learning difficulty of words: A conjoint analysis and learner segmentation

草薙 邦広 (名古屋大学)

Kunihiro Kusanagi (Nagoya University)

川口 勇作 (名古屋大学)

Yusaku Kawaguchi (Nagoya University)

⑤ アカデミックライティングの文法的特徴の分析

Analysis of Grammatical Features of Academic Writing

奥山 慶洋 (茨城工業高等専門学校)

Yasuhiro Okuyama (Ibaraki National College of Technology)

⑥ 大規模公開オンライン講座: 字幕の学習利用

Use of subtitles in a Massive Open Online Course

安西 弥生 (九州大学)

Yayoi Anzai (Kyushu University)

## **601 (研究発表 | Research Paper)**

① 教員研修における発音指導に対する教員の意識

Teachers' Attitudes to Teaching Pronunciation in Training Workshops

河内山 真理 (関西国際大学)

Mari Kouchiyama (Kansai University of International Studies)

有本 純 (関西国際大学)

Jun Arimoto (Kansai University of International Studies)

② 機能シラバスに基づいた英語教育プログラムにおける発話自動採点システム導入可能性の検討

Feasibility demonstration of a test by automated scoring system in Functional-syllabus-based English language program

近藤 悠介 (早稲田大学)

Yusuke Kondo (Waseda University)

石井 雄隆 (早稲田大学)

Yutaka Ishii (Waseda University)

③ 学習者のライティング方略は現実のライティングプロセスに反映されるか

The relationships between L2 writing strategies and real-time writing processes

川口 勇作 (名古屋大学)

Yusaku Kawaguchi (Nagoya University)

④ スマホ辞書とタブレット辞書の検索行動比較：予備調査

Student use of Dictionary apps for Smartphones vs. tablets: A pilot study

小山 敏子 (大阪大谷大学)

Toshiko Koyama (Osaka Ohtani University)

⑤ 児童が使用するコミュニケーション方略の分析

An analysis of children's use of communication strategies

川井 理瑛 (ECC ジュニア大枝塚原教室)

Risa Kawai (ECC Junior Oetsukahara Classroom)

⑥ 協働学習の効果に関する一考察

An investigation of the effects of collaborative learning

津田 ひろみ (明治大学)

Hiromi Tsuda (Meiji University)

## **602 (研究発表 | Research Paper)**

① アカデミック・ディベートを通して向上する語彙力に関する一考察

A Note on the Vocabulary Development through Academic Debate

橋尾 晋平 (同志社大学)

Shimpei Hashio (Doshisha University)

①12:30-13:00 ②13:05-13:35 ③13:40-14:10 ④14:20-14:50 ⑤14:55-15:25 ⑥15:30-16:00

② 理工系学生の英語学習動機づけ変化過程

Changing process of engineering students' motivation to learn English

前川 洋子 (大阪キリスト教短期大学) Yoko Maekawa (Osaka Christian College)

③ モデル音声の速度の違いがシャドーイングに与える影響について -構音速度からの考察-

How Differences in Model Voice Speeds Affect Shadowing Performances: Considerations from Articulation Rates

杉田 依嘉子 (関西学院大学) Ikako Sugita (Kwansei Gakuin University)

④ 子どもの発達段階を考慮した小学生用英語教材の記憶効果

The Memory Effects of English Teaching Materials for Elementary School Students Developed Considering Developmental Stages of Children

長谷川 修治 (植草学園大学) Shuji Hasegawa (Uekusa Gakuen University)

⑤ 携帯情報端末用工学英語語彙学習アプリの開発

Development of an EST vocabulary learning application for portable devices

小林 誠 (豊橋技術科学大学) Makoto Kobayashi (Toyohashi University of Technology)

笹尾 洋介 (豊橋技術科学大学) Yosuke Sasao (Toyohashi University of Technology)

河合 和久 (豊橋技術科学大学) Kazuhisa Kawai (Toyohashi University of Technology)

⑥ 教材開発のための e ラーニングに関する意識調査

Questionnaire survey on e-learning for development of materials

中島 敬之 (京都大学) Takayuki Nakajima (Kyoto University)

壇辻 正剛 (京都大学) Masatake Dantsuji (Kyoto University)

## ライフホール (Life Hall : 公募シンポジウム | Symposium)

### 公募シンポジウム 1 / Symposium 1 : 12:30-14:10

グローバル人材育成を目指した大学英語学習者の実態調査 : 研究と教育の視点から

An Investigation of Linguistic Abilities and Affect to enhance the Development of Global Leaders among Japanese University EFL Learners: From Research and Educational Perspectives

西田 理恵子 (大阪大学) Rieko Nishida (Osaka University)

竹蓋 順子 (大阪大学) Junko Takefuta (Osaka University)

今尾 康裕 (大阪大学) Yasuhiro Imao (Osaka University)

岡田 悠佑 (大阪大学) Yusuke Okada (Osaka University)



公募シンポジウム 2 / Symposium 2 : 14:20-16:00

多様な大学環境における英語 e ラーニング - 学習データ、アンケート、インタビューからみる「理想的」学習者 -

“Ideal” learners in e-learning English classes in various university settings

青木 信之 (広島市立大学)	Nobuyuki Aoki (Hiroshima City University)
鈴木 繁夫 (名古屋大学)	Shigeo Suzuki (Nagoya University)
竹井 光子 (広島修道大学)	Mitsuko Takei (Hiroshima Shudo University)
渡辺 智恵 (広島市立大学)	Tomoe Watanabe (Hiroshima City University)
志水 俊広 (九州大学)	Toshihiro Shimizu (Kyushu University)
寺嶋 健史 (松山大学)	Takeshi Terashima (Matsuyama University)
池上 真人 (松山大学)	Masato Ikegami (Matsuyama University)

## 第2日：8月5日 Day 2: August 5th

### ポスター発表 Poster Presentations

ポスター掲示：9:00-16:00 コアタイム(質疑応答)：13:10-14:40

## サイエンスホール (Science Hall)

iPad の録音・撮影機能と Moodle を連携させたアウトプット活動の記録と評価

Capture, Upload, and Share Media Online Using iPads

熊井 信弘 (学習院大学)

Nobuhiro Kumai (Gakushuin University)

意図的語彙学習と偶発的語彙学習双方を促進する e-ラーニングプログラムの開発

Development of an e-learning program to facilitate both intentional and incidental vocabulary learning

岡崎 弘信 (秋田県立大学)

Hironobu Okazaki (Akita Prefectural University)

木戸 和彦 (環太平洋大学)

Kazuhiko Kido (International Pacific University)

橋本 信一 (電気通信大学)

Shinichi Hashimoto (University of Electro-Communications)

鈴木 光子 (筑波大学)

Mitsuko Suzuki (University of Tsukuba)

福田 衣里 (中国学園大学)

Eri Fukuda (Chugoku Gakuen University)

江原 智子 (環太平洋大学)

Satoko Ebara (International Pacific University)

Implementing ICT in Japanese EFL Classroom: Collaborative Writing Activities

英語教育における ICT の導入：協同的なライティング活動

鈴木 光子 (筑波大学)

Mitsuko Suzuki (University of Tsukuba)

福田 衣里 (中国学園大学)

Eri Fukuda (Chugoku Gakuen University)

岡崎 弘信 (秋田県立大学)

Hironobu Okazaki (Akita Prefectural University)

実践報告 モバイル E-ラーニングの成果と課題：脳科学に基づくシステムソフトと学生の行動スタイルを踏まえた試み

A Report on the Practice of a Mobile E-learning: Focusing on the Effects of a Software Based on Brain

Science and the Challenges of a Courseware Based on Students' Behaviors

鈴木 千鶴子 (長崎純心大学)

Chizuko Suzuki (Nagasaki Junshin Catholic University)

山岸 信義 (授業学研究所)

Nobuyoshi Yamagishi (The Classology Institute of Japan)

吉原 将太 (長崎純心大学)

Shota Yoshihara (Nagasaki Junshin Catholic University)

短期語学研修が医療系学生の英語学習情意要因に及ぼす影響について

The Effects of Studying Abroad on Affective Variables in Learning English among Medical Science Students

野口 朋香 (愛知学院大学)

Tomoka Noguchi (Aichi Gakuin University)

語学教育設備の更新と改良の実践：理工系 ESP 教育の支援を目指して

Designing language learning environment for ESP

加藤 鉄生 (中部大学)

Tetsuo Kato (Chubu University)

ウェアラブルカメラを用いたプレゼンテーション授業実践報告

Practical report on the presentation classes using wearable cameras

森下 美和 (神戸学院大学)

Miwa Morishita (Kobe Gakuin University)

16:10-17:40

基調講演 2 (ライフホール)

Keynote Speech 2 (Life Hall)

## **Second Language Interaction: How Research Can Inform Instructional Practice**

Dr. Alison Mackey  
Georgetown University

18:00-20:00

懇親会 (千里阪急ホテル)

Conference Reception (Senri Hankyu Hotel)

8 月 6 日 ( 木 )

Thursday , August 6

9:00-

受付 (サイエンスホール)

Registration (Science Hall)

9:00-15:00

賛助会員展示 (サイエンスホール)

Supporting Member Exhibits (Science Hall)

出展賛助会員一覧については p. 37 をご覧ください。

A list of the exhibiting supporting members can be found on p. 37.

8  
月  
6  
日  
(  
木  
)

## 第3日：8月6日 Day 3: August 6th

### 賛助会員デモンストレーション Supporting Member Demonstrations

⑦9:30-10:00 ⑧10:05-10:35 ⑨10:40-11:10 ⑩11:15-11:45 ⑪11:50-12:20

## サイエンスホール ステージ (Science Hall)

⑦ アクティブラーニングを支援するチエルソリューションのご紹介

Supporting Active Learning: CHleru's innovative solutions

チエル株式会社

CHleru Co.,Ltd.

⑧ スマホとタブレットで始めるアクティブラーニング

Beginning Active Learning with a Smartphone and Tablet

日本データパシフィック株式会社

DATA PACIFIC (JAPAN) LTD.

⑨ スマートフォン・アプリを活用した授業外の語学学習支援

Mobile Apps as Supplementary Language Learning Resources

株式会社桐原書店

Kirihara Shoten K.K.

⑩ 英検受験者の学習を支える「スタディギア for EIKEN」とその活用状況

StudyGear for EIKEN - A web learning service for EIKEN examinees and its effectiveness

株式会社教育測定研究所

The Japan Institute for Educational Measurement, Inc.

⑪ 英文ライティング指導ツール

Criterion Online Writing Evaluation

国際教育交換協議会 (CIEE) 日本代表部 CIEE Japan

午前：⑦9:30-10:00 ⑧10:05-10:35 ⑨10:40-11:10 ⑩11:15-11:45 ⑪11:50-12:20  
午後：⑫13:00-13:30 ⑬13:35-14:05 ⑭14:10-14:40

## 第3日：8月6日 Day 3: August 6th

研究発表・実践報告・公募シンポジウム Oral Presentations・Symposium

午前：⑦9:30-10:00 ⑧10:05-10:35 ⑨10:40-11:10 ⑩11:15-11:45 ⑪11:50-12:20

午後：⑫13:00-13:30 ⑬13:35-14:05 ⑭14:10-14:40

### 501 (実践報告 | Classroom / Application Report)

#### ⑦ 指導ツールとしてのライティング・ルーブリックの効用：学習者の気づきを促進させる 試み

The Effectiveness of a Writing Rubric as an Instructional Tool: Raising Awareness of English-learners

金志 佳代子 (兵庫県立大学)

Kayoko Kinshi (University of Hyogo)

大年 順子 (岡山大学)

Junko Otoshi (Okayama University)

久留 友紀子 (愛知医科大学)

Yukiko Kuru (Aichi Medical University)

山西 博之 (関西大学)

Hiroyuki Yamanishi (Kansai University)

#### ⑧ SRT 形式の字幕編集を活かしたダイナミックな動画教材の作成

Creating Dynamic Movie Materials By Editing SRT-format Caption

東 淳一 (神戸学院大学)

Junichi Azuma (Kobe Gakuin University)

#### ⑨ 発音記号を使用した英語発音指導の取り組み

Phonetic alphabet application for English pronunciation teaching

中西 のりこ (神戸学院大学)

Noriko Nakanishi (Kobe Gakuin University)

#### ⑩ 幼児教員養成における英語絵本指導

Pre-service Training for Kindergarten Teachers using Picture Books

高橋 美由紀 (愛知教育大学)

Miyuki Takahashi (Aichi University of Education)

#### ⑪ e ラーニングと LMS、ピアライティングによる英語ライティング授業

Blending E-learning, LMS, and Peer Writing for Academic English Writing Class for College EFL Students

尾関 修治 (名古屋大学)

Shuji Ozeki (Nagoya University)

8月6日(木)

午前：⑦9:30-10:00 ⑧10:05-10:35 ⑨10:40-11:10 ⑩11:15-11:45 ⑪11:50-12:20

午後：⑫13:00-13:30 ⑬13:35-14:05 ⑭14:10-14:40

## ⑫ 英語教育における反転授業の効果

The Effect of a Flipped Lesson on Teaching EFL

小張 敬之 (青山学院大学)

Hiroyuki Obari (Aoyama Gakuin University)

大久保 雅司 (NEC マネジメントパートナー株式会社)

Masashi Okubo (NEC Management Partner, Ltd)

## **502 (研究発表・実践報告 | Research Papers・Classroom / Application Report)**

### ⑦ プロソディー習得のためのシャドウイングとオーバーラッピングの考察 -ケーススタディー-

An Examination of Shadowing and Overlapping Acquisition of English Prosody: A Case Study

岡田 あずさ (広島修道大学)

Azusa Okada (Hiroshima Shudo University)

### ⑧ チャンク処理とゲーミフィケーションによる音読・速読アプリの開発

App. for oral and faster reading with chunking and gamification

湯舟 英一 (東洋大学)

Eiichi Yubune (Toyo University)

峯 慎一 (明治大学)

Shinichi Mine (Meiji University)

### ⑨ 音素とプロソディーで判定する英語発音矯正ソフトの開発

English Pronunciation Correction Software based on phoneme and prosody level criteria

湯舟 英一 (東洋大学)

Eiichi Yubune (Toyo University)

藤田 雅也 (HOYA サービス株式会社)

Masaya Fujita (HOYA Service Corporation)

### ⑩ カナ記号を利用した英語発音表記システムによる発音矯正と音声認識ソフトを利用した評価

English phonetic transcription system by Japanese KANA: Its correction effects and feedback by speech recognition software

湯舟 英一 (東洋大学)

Eiichi Yubune (Toyo University)

井上 高志 (ビッグアップル・カンパニー)

Takashi Inoue (Big Apple Company)

藤田 雅也 (HOYA サービス株式会社)

Masaya Fujita (HOYA Service Corporation)



午前：⑦9:30-10:00 ⑧10:05-10:35 ⑨10:40-11:10 ⑩11:15-11:45 ⑪11:50-12:20

午後：⑫13:00-13:30 ⑬13:35-14:05 ⑭14:10-14:40

⑪ ワーキングメモリで処理される音声言語単位の普遍性に関する一考察 – 英語と日本語の音響解析比較から

A study of universality for language processing units in working memory: comparing the acoustic properties of English and Japanese speech

田淵 龍二 (ミント音声教育研究所) Ryuji Tabuchi (Mint Phonetics Education Institute)  
湯舟 英一 (東洋大学) Eiichi Yubune (Toyo University)

⑫ Monitoring students' listening skill development through dictation homework assignments with TED talks

TED トークを使用したディクテーション課題から見える学生のリスニングスキルの伸び

丸尾 加奈子 (福岡大学) Kanako Maruo (Fukuoka University)

⑬ The Pedagogical Significance of Education Supporter System in the Project-based English Program at Ritsumeikan University ---Through Five-Year Practice and Observation---

プロジェクト発信型英語プログラムにおける教育サポーターシステムの教育的効果:5年間の実践と観察を通して

近藤 雪絵 (立命館大学) Yukie Kondo (Ritsumeikan University)  
木村 修平 (立命館大学) Shuhei Kimura (Ritsumeikan University)  
大賀 まゆみ (立命館大学) Mayumi Oga (Ritsumeikan University)  
笠巻 知子 (立命館大学) Tomoko Kasamaki (Ritsumeikan University)

## 503 (研究発表 | Research Paper)

⑦ 日本人大学生英語学習者の動機づけ質問紙改良の試み

Modifying a Questionnaire for Japanese EFL Learner Motivation at Tertiary Level

阿川 敏恵 (順天堂大学) Toshie Agawa (Juntendo University)  
竹内 理 (関西大学) Osamu Takeuchi (Kansai University)

⑧ 海外との英文手紙交換が中学生とその後の卒業生に与える影響について

The Influence that Exchanging English Letters with Students in the U.S. gives to Japanese Junior High School Students and Graduates

伊藤 由紀子 (大阪教育大学) Yukiko Ito (Osaka Kyoiku University)

午前：⑦9:30-10:00 ⑧10:05-10:35 ⑨10:40-11:10 ⑩11:15-11:45 ⑪11:50-12:20

午後：⑫13:00-13:30 ⑬13:35-14:05 ⑭14:10-14:40

⑨ Quiet: 内向型英語学習者のストラテジー

Introversion and Associated Language Learning Strategies

滝澤 伊都子 (同志社女子大学)

Itsuko Takizawa (Doshisha Women's College of Liberal Arts)

池上 久美子 (同志社女子大学)

Kumiko Ikegami (Doshisha Women's College of Liberal Arts)

川井 理瑛 (ECC ジュニア大枝塚原教室)

Risa Kawai (ECC Junior Oetsukahara Classroom)

若本 夏美 (同志社女子大学)

Natsumi Wakamoto (Doshisha Women's College of Liberal Arts)

⑩ 中学校英語学習において動機づけを高める実証研究

How to Motivate Junior High School Students in English Classes

若生 深雪 (仙台市立中野中学校)

Miyuki Wako (Nakano Junior High School)

⑪ ESP コーパス分析による項目作成とコンピュータ適応型テスト

Item Bank Based on ESP Corpora Analysis And A Computerized Adaptive Test

小山 由紀江 (名古屋工業大学)

Yukie Koyama (Nagoya Institute of Technology)

木村 哲夫 (新潟青陵大学)

Tetsuo Kimura (Niigata Seiryu University)

⑫ 外国語初心者の語彙学習時の脳活動

Cortical processing for a foreign language in novices: A study using fNIRS

中野 秀子 (九州女子大学)

Hideko Nakano (Kyushu Women's University)

⑬ 多読授業が情意面に及ぼす影響 -情意不安・動機づけに焦点を当てて-

Effects of extensive reading on reading attitudes and motivation in a foreign language learning

池上 久美子 (同志社女子大学)

Kumiko Ikegami (Doshisha Women's College of Liberal Arts)

滝澤 伊都子 (同志社女子大学)

Itsuko Takizawa (Doshisha Women's College of Liberal Arts)

⑭ 初級英語学習者の聴解に与えるポーズの効果

An effect of pauses on low level English learners' listening comprehension

小屋 多恵子 (法政大学)

Taeko Koya (Hosei University)

午前：⑦9:30-10:00 ⑧10:05-10:35 ⑨10:40-11:10 ⑩11:15-11:45 ⑪11:50-12:20

午後：⑫13:00-13:30 ⑬13:35-14:05 ⑭14:10-14:40

## 601 (研究発表 | Research Paper)

- ⑦ 協働学習により自己調整学習はどのように創発されるか：よりよいメタ認知方略の指導をめざして

Emergent Self-regulated Learning Through Collaborative Learning of Metacognitive Strategy: Interplay of Individual Characteristics And Contextual Factors

池田 真生子 (関西大学)

Maiko Ikeda (Kansai University)

- ⑧ 筆記、実技、意識調査から検証する音声学習項目の定着：語強勢とイントネーションについて

An Analysis of the Achievements of Pronunciation Instruction Based on a Written Test, Recorded Pronunciation and a Questionnaire: a Focus on Word Stress and Intonation Patterns

大塚 朝美 (大阪女学院大学)

Tomomi Otsuka (Osaka Jogakuin University)

上田 洋子 (大阪女学院大学)

Hiroko Ueda (Osaka Jogakuin University)

- ⑨ 日本人英語学習者の英文産出過程の分析

Analysis of Japanese EFL learners' writing process

阪上 辰也 (広島大学)

Tatsuya Sakaue (Hiroshima University)

- ⑩ 語彙認識の自動化を測定するオンライン英語語彙テストの開発と検証

Development and Validation of a Network-based Vocabulary Test to Measure Automaticity of L2 Word Recognition

山内 豊 (東京国際大学)

Yutaka Yamauchi (Tokyo International University)

峯松 信明 (東京大学)

Nobuaki Minematsu (The University of Tokyo)

川村 明美 (東京国際大学)

Akemi Kawamura (Tokyo International University)

西川 恵 (東海大学)

Megumi Nishikawa (Tokai University)

加藤 集平 (HOYA サービス株式会社)

Shuhei Kato (HOYA Service Corporation)

藤田 雅也 (HOYA サービス株式会社)

Masaya Fujita (HOYA Service Corporation)

- ⑪ TTS(Text-To-Speech)合成音声と肉声では学習効果は異なるか -習熟度別に見た日本人英語学習者のプライミング効果の検証-

Are the Learning Effects of TTS (Text-To-Speech) Synthetic Speech and Real Voice Different?:

Examining Priming Effects on Japanese EFL Learners of Different Proficiency Levels

松田 紀子 (大阪工業大学)

Noriko Matsuda (Osaka Institute of Technology)

午前：⑦9:30-10:00 ⑧10:05-10:35 ⑨10:40-11:10 ⑩11:15-11:45 ⑪11:50-12:20

午後：⑫13:00-13:30 ⑬13:35-14:05 ⑭14:10-14:40

⑫ オンライン・ディスカッションにおける発話の生成過程の分析

Analyzing the discourse being emerged in the online discussion forum

菅原 安彦 (国士館大学)

Yasuhiko Sugawara (Kokushikan University)

鈴木 広子 (東海大学)

Hiroko Suzuki (Tokai University)

保崎 則雄 (早稲田大学)

Norio Hozaki (Waseda University)

⑬ 可視化の学習支援 LMS ツールを利用した国際協調学習の実践研究：学習コミュニティによる評価

A Study of International Collaborative Learning with Visualization

安部 由美子 (広島工業大学)

Yumiko Abe (Hiroshima Institute of Technology)

益子 行弘 (浦和大学)

Yukihiro Mashiko (Urawa University)

⑭ 大学生英語学習者の Extensive Reading の効果 – 英語能力、読解速度、品詞別習得率  
Effectiveness of Extensive Reading in the Japanese University Context: English Proficiency, Reading Rate, Acquisition of Parts of Speech

間所 智子 (株式会社エデュケーションネットワーク)

Tomoko Madokoro (Education Network)

## 602 (研究発表 | Research Paper)

⑦ 戦後日本における英語教育政策過程の歴史的転換点

Historical milestones of policy making process of English language education in Japan

青田 庄真 (東京大学)

Shoma Aota (The University of Tokyo)

⑧ Examining the performance of multiple-choice 1-blank partial dictation items

多肢選択式一空欄部分ディクテーション項目の性能の分析

静 哲人 (大東文化大学)

Tetsuhito Shizuka (Daito Bunka University)

⑨ Lack of Ideal L2 Selves, Unique Ideal L2 Selves: University Non-English Majors' L2 Motivation Focusing on Ideal L2 Self

L2 理想自己の欠如とユニークな L2 理想自己：L2 理想自己に焦点を当てた大学非英語専攻者の動機づけ

高橋 千佳 (愛媛大学)

Chika Takahashi (Ehime University)

午前：⑦9:30-10:00 ⑧10:05-10:35 ⑨10:40-11:10 ⑩11:15-11:45 ⑪11:50-12:20

午後：⑫13:00-13:30 ⑬13:35-14:05 ⑭14:10-14:40

⑩ Automatic Speech Recognition Errors Enrich Partial and Synchronized Caption to Develop Listening Skill

ミルザイ マリヤム サダト (京都大学) Maryam Sadat Mirzaei (Kyoto University)

⑪ The effect of exposure methods for word meaning retention: a comparative study between L1 translation and L2 synonym

語彙の意味保持における提示法の効果 -訳語と類義語の比較-

梶浦 真由美 (名古屋大学)

Mayumi Kajiuira (Nagoya University)

木下 徹 (名古屋大学)

Toru Kinoshita (Nagoya University)

高 飛 (名古屋大学)

Fei Gao (Nagoya University)

⑫ Emotional Valence and L2 Lexical Recall Memory: An Experimental Study with Japanese Learners of English

感情価と L2 語彙再生記憶：日本人英語学習者を対象とした実験研究

金澤 佑 (関西学院大学)

Yu Kanazawa (Kwansei Gakuin University)

⑬ How different is L2 learning motivation between would-be English teachers and would-be non-English teachers at the tertiary level?

英語教員志望学生と非英語教員志望学生の第二言語学習動機にはどのような違いがあるか

宮迫 靖静 (福岡教育大学)

Nobuyoshi Miyasako (Fukuoka University of Education)

## ライフホール (Life Hall : 公募シンポジウム | Symposium)

### 公募シンポジウム 3 / Symposium 3 : 9:30-11:10

Writing MaetriX を用いた言語資源の構築と英語学習者のライティング・プロセスの解明

Constructing Language Resources Based on Writing MaetriX and Investigating Learners' Writing Processes

石井 雄隆 (早稲田大学)

Yutaka Ishii (Waseda University)

石井 卓巳 (筑波大学)

Takumi Ishii (University of Tsukuba)

川口 勇作 (名古屋大学)

Yusaku Kawaguchi (Nagoya University)

阿部 大輔 (名古屋大学)

Daisuke Abe (Nagoya University)

西村 嘉人 (名古屋大学)

Yoshito Nishimura (Nagoya University)

草薙 邦広 (名古屋大学)

Kunihiro Kusanagi (Nagoya University)

#### 公募シンポジウム 4 / Symposium 4 : 11:15-12:55

“媒介する道具”を効果的に応用した英語教育の試みとしての英語はどのような言語力なのか

How could we effectively use “mediating artifact” to activate EFL class and learners to develop the learners’ English proficiency?

保崎 則雄 (早稲田大学)

Norio Hozaki (Waseda University)

藤枝 美穂 (京都医療科学大学)

Miho Fujieda (Kyoto College of Medical Science)

鈴木 広子 (東海大学)

Hiroko Suzuki (Tokai University)

飯野 一彦 (群馬工業高等専門学校)

Kazuhiko Iino (National Institute of Technology Gunma College)

#### 公募シンポジウム 5 / Symposium 5 : 13:00-14:40

外国語活動における気づき -発達段階を意識した習得を目指して-

How are children noticing features of L1 and L2 when doing foreign language activities?

井狩 幸男 (大阪市立大学)

Yukio Ikari (Osaka City University)

斉藤 倫子 (関西学院大学)

Tomoko Saito (Kwansei Gakuin University)

福原 史子 (ノートルダム清心女子大学)

Fumiko Fukuhara (Notre Dame Seishin University)

多田 玲子 (大阪教育大学)

Reiko Tada (Osaka Kyoiku University)

## 第3日：8月6日 Day 3: August 6th

### ポスター発表 Poster Presentations

ポスター掲示：9:00-16:00 コアタイム(質疑応答)：13:10-14:40

## サイエンスホール (Science Hall)

ブレンディッドラーニングにおける対面授業のデザインと教師の役割：学習意欲向上の視座から

Face-to-face class designs and the roles of teachers in blended-learning: Are the students really motivated?

小栗 成子 (中部大学)

Seiko Oguri (Chubu University)

関山 健治 (中部大学)

Kenji Sekiyama (Chubu University)

加藤 鉄生 (中部大学)

Tetsuo Kato (Chubu University)

外国語学習での視覚情報の効果

Effect of Visual Information on Language Learning

李 相穆 (九州大学)

Sangmok Lee (Kyushu University)

ライティングにおける教師フィードバックの効果－冠詞に焦点をあてて－

Verifying the effect of teacher written feedback - focusing on articles -

占部 昌蔵 (長岡工業高等専門学校)

Shozo Urabe (Nagaoka National College of Technology)

英語教育におけるビデオの効果的活用

Using video recording of students' performance in teaching English

岡田 靖子 (清泉女子大学)

Yasuko Okada (Seisen University)

日本人英語学習者の語用論的意識向上を支援するアニメーション教材

Formulaic-Sequence-Based Animated Videos to Help Japanese EFL Learners Raise Pragmatic Awareness in English

田中 洋也 (北海学園大学)

Hiroya Tanaka (Hokkai-Gakuen University)

大木 七帆 (北海学園大学)

Nanaho Oki (Hokkai-Gakuen University)

株式会社 VERSION2

VERSION2 Inc.

## The use of oral proficiency tests in the Japanese EFL context: Perceptions and problems

日本におけるスピーキングテスト利用：学習者の視点及び課題

藤井 彰子（聖心女子大学）

Akiko Fujii (University of the Sacred Heart)

渡邊(金) 泉（国際基督教大学）

Izumi Watanabe-Kim (International Christian University)

飯野 厚（法政大学）

Atsushi Iino (Hosei University)



15:00-16:30

### 基調講演 3 (ライフホール)

Keynote Speech 3 (Life Hall)

## **Collaborative Writing in Face-to-face and Computer Mediated Modes: Students' Interactions and Pedagogical Implications**

Dr. Neomy Storch  
The University of Melbourne

16:35-16:50

### 閉会行事 (ライフホール)

Closing Ceremony (Life Hall)

司会	若本 夏美 (大会実行委員長 LET 関西支部長 同志社女子大学)
挨拶	湯舟 英一 (LET 関東支部長 東洋大学)
Coordinator	Natsumi Wakamoto (Conference Chair, President of LET Kansai Chapter, Doshisha Women's College of Liberal Arts)
Greetings	Eiichi Yubune (President of LET Kanto Chapter, Toyo University)

### 大会参加事前登録 Conference Participation Pre-registration

会員の方は必ず事前に参加登録を行なってください。発表要項集、懇親会参加の事前申込も受け付けます。事前登録の方法は、7月上旬に大会ウェブサイト (<http://let-kansai.org/2015/>) に掲載します。

発表要項集：事前・当日とも一部 2,000 円

懇親会（千里阪急ホテル）：事前 4,000 円・当日 5,000 円

注：当日の要項集の販売、及び懇親会参加受付は、残部／残席がある場合のみ行ないます。

LET members are requested to pre-register for the conference. You can also pre-order a conference handbook and/or a seat for the conference reception. For more information, please visit our conference website (<http://let-kansai.org/2015/>). The pre-registration will open in early July.

Conference Handbook：¥2,000

Conference reception (Senri Hankyu Hotel)：¥4,000 (pre-order)／¥5,000 (on-site)

Note: On-site purchase of the conference handbook and/or the conference reception seat may not be available.

### 受付 Registration

- ① 大会受付は 8 月 5 日（水）と 8 月 6 日（木）に 5 階サイエンスホールで行います。
  - ② LET 会員の方は無料でご参加いただけます。受付で参加登録後、名札をお受け取りください。
  - ③ 非会員の方は当日受付で、当日会費 3,000 円（学生 1,500 円）を納入し、当日会員用の名札をお受け取りください。当日会員の資格は大会期間中有効です。なお、入会手続きを行っていただきますと当日会費は無料となります。
  - ④ 団体会員はお一人のみ会員扱いとなります。お二人目以降の参加につきましては、当日会費を各支部の受付にてお支払いください。
  - ⑤ 大会期間中は名札が会員証になります。会場では名札をおつけ下さい。
- A) The conference registration site is located at the Science Hall (5th floor) on August 5 and 6.
  - B) The conference is free for LET members. Register and receive your name card.
  - C) The conference attendance fee is ¥3,000 for non-members (¥1,500 for students). If non-members apply for the annual membership at the registration desk, the conference fee is waived.
  - D) Only one person is allowed to attend for each group membership. The conference attendance fee will be charged from the second person.
  - E) Please wear your conference name card throughout the conference.

## **昼食・休憩 Lunch and Lounge**

昼食は会場周辺（千里中央）の飲食店等をご利用ください。会場内には、5階受付付近に Café & Restaurant Port 5 がございますので、休憩の際にはお使いください。なお会場となっている建物は全館禁煙です。

You can find various restaurants and cafes around the conference venue, where you can eat lunch or take a break. You can also use Café & Restaurant Port 5 near the registration site on the 5th floor. Please note that smoking is strictly prohibited in the building where the conference is taking place.

## **インターネット The Internet**

会場内では、インターネットサービスは提供していません。必要な方は各自ご用意ください。

No Internet service is available. Please bring your own wireless network connection to access the Internet.

## **出張依頼状 Letter of Request for Attendance**

出張依頼状が必要な方は、大会 2 週間前までに大会事務局に文書でお申し込みください。その際、宛名を書き、切手を貼った返信用封筒を同封してください。なお、指定の書式がある場合は併せてお送りください。

For those requiring a letter of request for attendance, please send a written application for one by post to the conference secretariat before July 21, 2015. Please include a self-addressed, stamped return envelope. If a certain form or format is necessary, please include this in your request.

## **会場への交通 Getting to the Venue**

会場へはできるだけ公共交通機関をご利用ください。交通アクセスについては、次ページをご覧ください。

Please use public transportations to get to the venue. For more information, see the next page.

## **宿泊 Accommodation**

大会事務局では、宿泊の斡旋はしておりませんので、各自でご手配ください。ご参考までに、大会ウェブサイト会場周辺（梅田・新大阪方面含む）のホテルをいくつかリストしていますので、ご覧ください。

Unfortunately, we cannot provide accommodation service through our association. Please make arrangements yourself. A list of hotels in the surrounding area (e.g., Umeda and Shin-Osaka) can be found on the conference website.

# 交通アクセス

## Access

### ● 梅田／新大阪方面からお越しの方

御堂筋線 千里中央行終点

「千里中央」駅下車（北出口すぐ）

### ● 伊丹空港からお越しの方

大阪モノレール 門真市行

「千里中央」駅下車（徒歩約5分）

### ● From Umeda/Shin-Osaka

Midousuji Line bound for Senri Chuo

Get off at Senri Chuo Station (final stop)

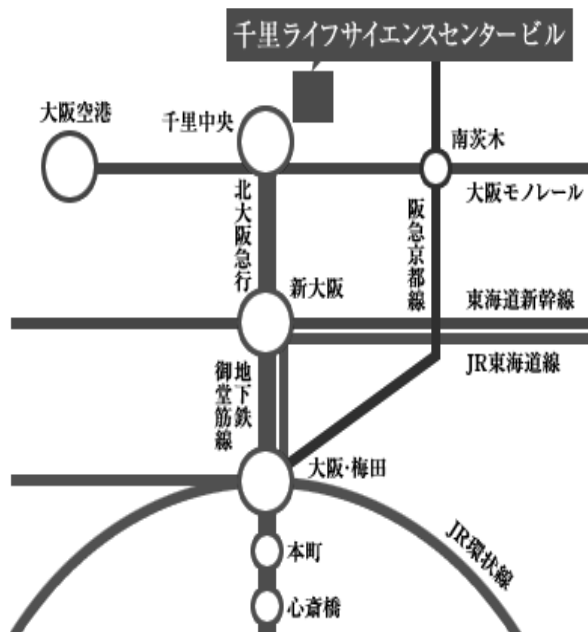
(Next to the north exit)

### ● From Itami Airport

Osaka Monorail Kadoma-shi Line

Get off at Senri Chuo Station

(About a 5-minute walk from the station)

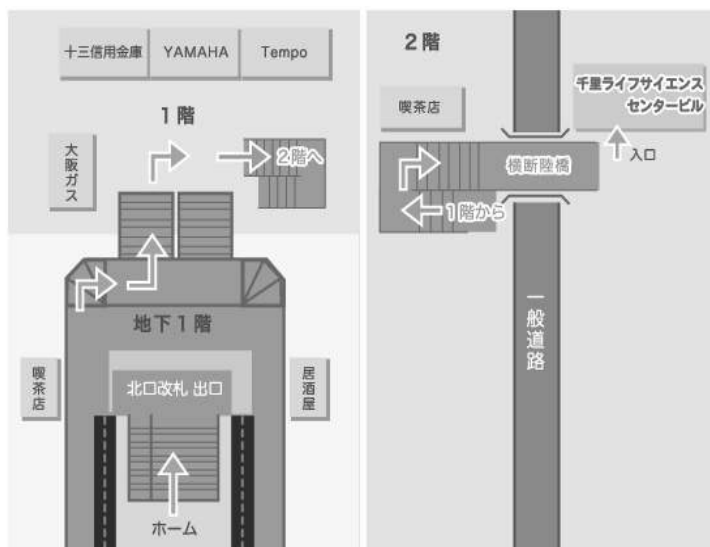


### 地下鉄千里中央駅から

地下鉄「千里中央」駅で下車後、北出口（先頭方面）のエスカレータに乗り、正面改札口から出るとわかりやすいです。

### From Senri Chuo St (subway)

After getting off at Senri Chuo Station, take the escalator on the north side, and exit through the front ticket gate.



## 会場平面図 Map

### 5 階

#### ライフホール

基調講演・開会式・閉会式・総会

公募シンポジウム

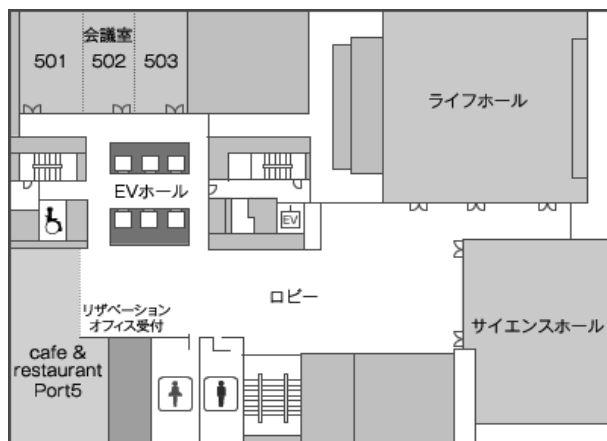
#### サイエンスホール

受付・業者展示

ポスタープレゼンテーション

501・502・503

口頭発表



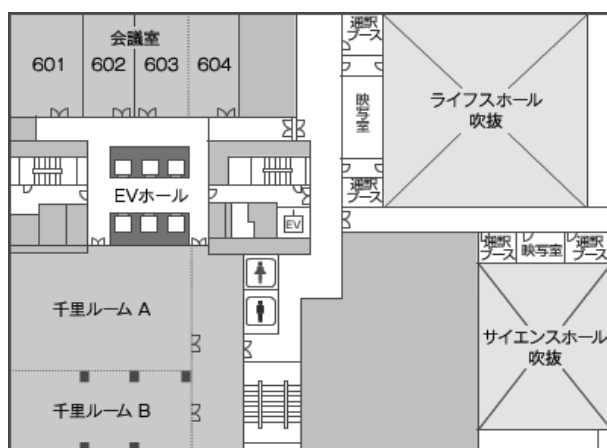
### 6 階

601・602

口頭発表

603・604

業者展示



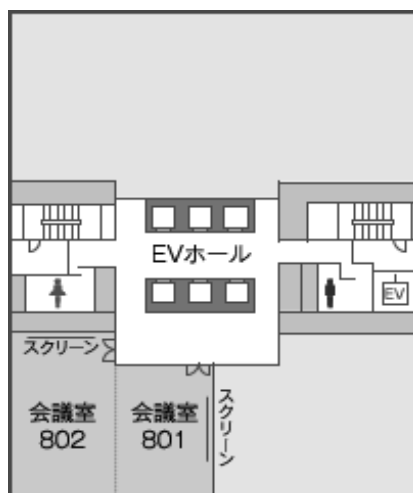
### 8 階

801

セミナー

802

ワークショップ



## 出展賛助会員一覧（50音順・6月10日現在）

BBC ワールドジャパン	BBC World Japan Ltd.
G-TELP 日本事務局	G-TELP JAPAN
JVC ケンウッド	JVC KENWOOD Corporation
NEC マネジメントパートナー	NEC Management Partner, Ltd.
アルク・アルク教育社	ALC PRESS INC.・ALC EDUCATION INC.
アンペール	Ampere, Inc.
エル・インターフェース	L-Interface
シードラーニング	Compass Publishing Japan
チエル	CHleru Co.,Ltd.
ニュートン	Newton Inc.
パナソニックシステムネットワークス	Panasonic System Networks Co.,Ltd.
ピアソン・ジャパン	Pearson Japan K.K.
マクミランランゲージハウス	Macmillan LanguageHouse Ltd.
ユーメディア	YUMEDIA Inc.
リアリーイングリッシュ	Reallyenglish Japan Co., Ltd.
英語運用能力評価協会	Association for English Language Proficiency Assessment
教育測定研究所	The Japan Institute for Educational Measurement, Inc.
桐原書店	Kirihara Shoten K.K.
金星堂	KINSEIDO Publishing Co.,Ltd.
公益財団法人日本英語検定協会	Eiken Foundation of Japan
国際教育交換協議会（CIEE）日本代表部	CIEE Japan
松柏社	Shohakusha Publishing Co.,. Ltd.
新宿スタジオ	Shinjuku-studio Corp.
成美堂	SEIBIDO PUBLISHING CO LTD.
正興ITソリューション	SEIKO IT-SOLUTION, INC.
全関西ケーブルテレビジョン	All Kansai Cable Television Co.,Ltd
電子システム	denshi-system CO.,LTD.
内田洋行	UCHIDA YOKO CO., LTD.
南雲堂	NAN'UN-DO Co.,Ltd
日本データパシフィック	DATA PACIFIC (JAPAN) LTD.
北辰映電	Hokushin-Eiden

掲載情報の更新及び訂正につきましては、以下のサイトをご確認ください。

<http://www.let-kansai.org/2015/>